

有限会社栄晃

平成 2 7 年度 環境報告書

対象期間 : 平成 2 7 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 8 年 3 月 3 1 日



発行 平成 2 8 年 6 月 3 0 日

目 次

ごあいさつ

環境方針

I 公表事項

- 1. 法人に関する基礎情報 5
- 2. 事業計画の概要 5
- 3. 産業廃棄物収集運搬・処分業
特別産業廃棄物収集運搬・処分業の許可 6
- 4. 運搬施設・処理施設に関する事項 7
- 5. 事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図 1 1
- 6. 産業廃棄物の一連の処理の行程 1 2
- 7. 産業廃棄物の受入量、運搬量、処分量 1 3
- 8. 産業廃棄物処理施設の維持管理状況 1 4
- 9. 収集運搬料金の提示方法 1 6
- 1 0. 業務を所掌する組織・人員配置 1 6
- 1 1. 事業場の公開の有無・公開頻度 1 6

II 環境活動報告

- 1. 環境目標・実績 1 7
- 2. 環境活動計画の取組結果 1 7
- 3. 第三者認証 1 8
- 4. 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無 1 8

別添資料 ①②③④⑤⑥ 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬、処分業業許可証
⑦ ISO14001 : 2004 認証

1. ごあいさつ

当社は、昭和55年4月に設立、地場における一般廃棄物の収集運搬事業及び産業廃棄物の収集運搬・中間処理事業を展開してきました。平成19年には廃棄物のリサイクル促進のニーズを先取りし、RPF製造を主としたリサイクルセンターを建設、多様な機能を併せ持つ複合型の廃棄物処理業者としての再スタートを切りました。また、平成25年には老朽化した旧焼却炉を刷新し、新たな焼却炉を建設しました。

当社は、今後も廃棄物の収集・運搬及び中間処理に関わる全ての事業活動を通じて環境保全と汚染の予防に取り組み、持続可能な経済発展と地球環境とが調和する循環型社会の形成に貢献して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成28年6月30日

有限会社栄晃

代表取締役 榑 原 隆 信

環境方針

私達は、廃棄物の収集・運搬及び中間処理に関わる全ての事業活動を通じて環境保全と汚染の予防に取り組み、持続可能な経済発展と地球環境とが調和する循環型社会の形成に貢献します。

1. リサイクル促進と大気汚染防止への取り組み

私達は、廃棄物の分別徹底によるリサイクル促進に努め、また焼却施設の適正運転により大気汚染の防止に努めます。

2. 廃棄物の安全な収集・運搬

私達は、廃棄物の収集・運搬及び中間処理に当たり、安全性の向上に関する課題に一致団結して取り組みます。

3. 環境に関連する法的及びその他の要求事項の順守

私達は、環境関連法や各種規制を順守します。更に、行政の政策や地域社会の環境活動に積極的に対応するとともに、独自の環境基準を設定・順守します。

4. 省資源への取り組み

私達は、全ての事業活動において使用する天然資源の使用の効率化に取り組むことにより、省資源促進に貢献します。

5. 情報公開と環境教育

私達は、全ての利害関係者に対して環境に関連する情報の公開及びコミュニケーションを積極的に行います。また、社内での環境教育への注力はもとより、社外関連企業に対しても、環境意識向上のための啓蒙活動を積極的に推進します。

6. 環境目的・環境目標の設定

私たちは、本方針を実現するために、極力計数化・計量化した環境目的・環境目標を設定・運用し、定期的に見直すとともに、継続的改善を推進します。

制定 平成19年6月25日

有限会社榮晃

代表取締役 榊 原 隆 信

I 公表事項

1. 法人に関する基礎情報

名称	有限会社栄晃
所在地	本店・リサイクルセンター： 広島県呉市川尻町才野谷 6 2 4 - 1 Tel：0823-87-0538 焼却施設：広島県呉市川尻町才ノ谷 5 1 3 8 - 3
設立年月日	昭和 5 3 年 7 月 3 1 日
資本金・出資金	5,000,000 円
代表者	代表取締役 榊原隆信（平成 1 4 年 3 月 2 5 日就任） （平成 2 8 年 6 月 3 0 日現在）
役員等	代表取締役 榊原隆信 取締役 榊原裕子 榊原貢 山田光雄 監査役 榊原早苗
事業の内容等	昭和 5 3 年 7 月 さかき興業有限会社として設立 昭和 5 5 年 4 月 有限会社栄晃に商号変更、現在に至る 平成 1 4 年 産業廃棄物の焼却炉を完成 平成 1 9 年 産業廃棄物の破碎、圧縮固化による R P F の製造 を主としたリサイクルセンターを建設 平成 2 0 年 I S O 1 4 0 0 1 認証を取得 平成 2 5 年 焼却炉を更新 乾溜ガス化炉の新設 太陽光発電を開始

2. 事業計画の概要

(1) 一般廃棄物の収集運搬業務

呉市からの委託を受け、一般家庭又は事業所から排出される廃棄物を収集し、市の処分場に搬入する。

(2) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業務

広島県内の事業所から排出される産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬を行う。

(3) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の選別・中間処理業務

搬入された産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の選別・中間処理（焼却、破碎及び圧縮固化）業務を行う。

3. 産業廃棄物収集運搬・処分業・特別産業廃棄物収集運搬・処分業の許可

【産業廃棄物】

No	許可区分	都道府県・ 政令市	許可番号	許可年月日及び有 効期限	許可品目															
					廃 プラ スチ ック 類	金 属 く ず	ガラスくず、コンクリート くず及び陶磁器くず	がれき類	燃え殻	ばいじん	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず
1	産業廃棄物 収集運搬業	広島県	第03409017948号	平成27年12月13日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
				平成32年12月12日	積替・保管含まない															
2	産業廃棄物 収集運搬業	福岡県	第04000017948号	平成23年10月6日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	
				平成28年10月5日	積替・保管含まない															
3	産業廃棄物 収集運搬業	山口県	第03500017948号	平成26年1月14日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
				平成31年1月13日	積替・保管含まない															
4	産業廃棄物 処分業	呉市	第07420017948号	平成27年12月13日	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●		
				平成32年12月12日	焼却 破砕 圧縮	焼却 破砕	焼却 破砕		焼却		焼却	焼却	焼却	焼却	焼却 破砕 圧縮	焼却 破砕 圧縮	焼却 破砕 圧縮	焼却	焼却	焼却 破砕

【特別管理産業廃棄物】

No	許可区分	都道府県・ 政令市	許可番号	許可年月日及び有 効期限	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	感 染 性 産 業 廃 棄 物	廃 石 綿 等	燃 え 殻	汚 泥	鋳 さ い	ば い じ ん
1	特別管理産業廃 棄物収集運搬業	広島県	第03459017948号	平成27年3月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				平成32年3月30日	積替・保管含まない								
2	特別管理産業廃 棄物処分業	呉市	第07470017948号	平成24年12月10日				●					
				平成29年12月9日				焼却					

4. 運搬施設・処理施設に関する事項

(1) 運搬施設（平成28年6月30日現在）

	車輛形式	積載量(kg)	積載可能寸法 長さ×幅×高さ (mm)	保有 台数
1	塵芥車	2,000	553×187×237	1
2	塵芥車	2,350	652×219×276	1
3	塵芥車	2,000	528×189×237	1
4	塵芥車	2,000	531×188×239	1
5	脱着装置付コンテナ専用車	2,000	430×170×195	1
6	脱着装置付コンテナ専用車	3,600	621×220×247	1
7	脱着装置付コンテナ専用車	4,000	581×216×236	1
8	脱着装置付コンテナ専用車	5,300	728×241×342	1
9	脱着装置付コンテナ専用車	5,500	761×221×296	1
10	脱着装置付コンテナ専用車	6,200	788×220×288	1
11	脱着装置付コンテナ専用車	7,900	631×227×252	1
12	脱着装置付コンテナ専用車	10,700	909×249×294	1
13	脱着装置付コンテナ専用車	2,000	438×169×197	1
14	ダンプ	2,000	470×169×199	1
15	ダンプ	3,000	469×169×199	1

(2) 低公害車の導入の状況

運搬車の排ガスレベル	台数 H28.6.30 時点
全保有台数	15
① 平成12年基準低排出ガス車 良☆	
② 平成12年基準低排出ガス車 優☆☆	
③ 平成12年基準低排出ガス車 超☆☆☆	
④ 平成12年基準超低PM排出レベル車☆☆☆	
⑤ 平成12年基準超低PM排出レベル車☆☆☆☆	1
⑥ 平成17年規制適合車	
⑦ 平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆	
⑧ 平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆☆	
⑨ 平成17年基準低排出ガス重量車 ☆	6
⑩ 平成17年基準低排出ガス重量車 ★	
⑪ 平成21年規制適合車	1
⑫ 平成22年規制適合車	2

運搬車の燃費基準達成状況		台数 H28.6.30 時点
全保有台数		15
平成17年度燃費基準達成車	① ー	
	② 10%低減レベル	
平成22年度燃費基準達成車	③ ー	
	④ 5%低減レベル	
	⑤ 10%低減レベル	
	⑥ 15%低減レベル	
	⑦ 25%低減レベル	
平成27年度燃費基準達成車	⑧ ー	2

(3) 処理施設に関する記載内容

施設の種類の	処理能力	処理方式
焼却施設 平成25年9月23日設置 広島県呉市川尻町才之谷 5138番3	12.36 t/日 (24h)	ガス化改質方式
破砕施設 平成19年11月14日設置 広島県呉市川尻町才野谷 624 番 地1外		二軸式破砕
廃プラスチック類	4.75t/8h	
紙くず	2.72t/8h	
木くず	4.16t/8h	
繊維くず	1.09t/8h	
ゴムくず	4.32t/8h	
金属くず	3.07t/8h	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶 磁器くず	4.53t/8h	二軸式破砕
破砕施設 平成22年1月28日設置 広島県呉市川尻町才野谷 624 番 地1外	100.00t/8h	

木くず		
圧縮固化 平成 21 年 8 月 1 日設置 広島県呉市川尻町才野谷 624 番地 1 外 廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず	4.32t/8h	RPF 成形

(4) 保管施設に関する記載内容

設置場所	産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積み上げる ことのできる高 さ
広島県呉市川尻町 才之谷 5138 番地 3	廃プラスチック類	23 m ²	10 m ³	0.5m
	紙くず			
	木くず	15 m ²	6 m ³	0.5m
	繊維くず			
	ゴムくず	30 m ²	45 m ³	3.0m
広島県呉市川尻町 才之谷 5138 番地 3	金属くず	56 m ²	112 m ³	4.0m
	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	20 m ²	6 m ³	1.0m
	燃え殻、汚泥、廃油、 廃酸、廃アルカリ、 動植物性残さ、動物 系固形不要物	28 m ²	24 m ³	保管容器
広島県呉市川尻町 才之谷 5138 番地 3	廃プラスチック類	30 m ²	45 m ³	3.0m
広島県呉市川尻町 才野谷 624 番地 1 外	紙くず			
	木くず	13 m ²	31 m ³	2.4m
	繊維くず			
	ゴムくず	12 m ²	28 m ³	2.4m
	金属くず			

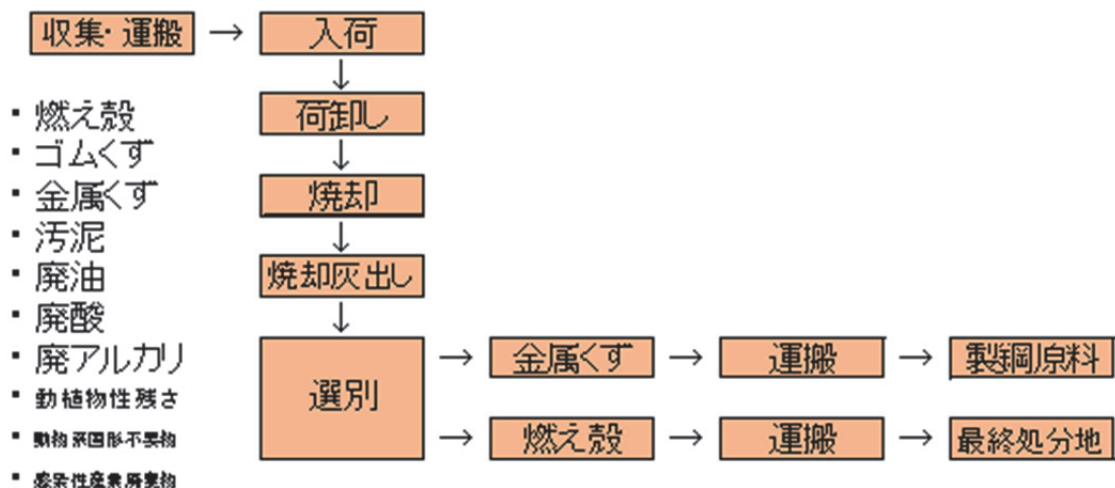
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	12 m ²	28 m ³	2.4m
		9 m ²	21 m ³	2.4m
広島県呉市川尻町 才野谷 624 番地 1 外	木くず	168.4 m ²	170.8 m ³	1.8m

(5) 産業廃棄物の種類ごとの主な処理方法

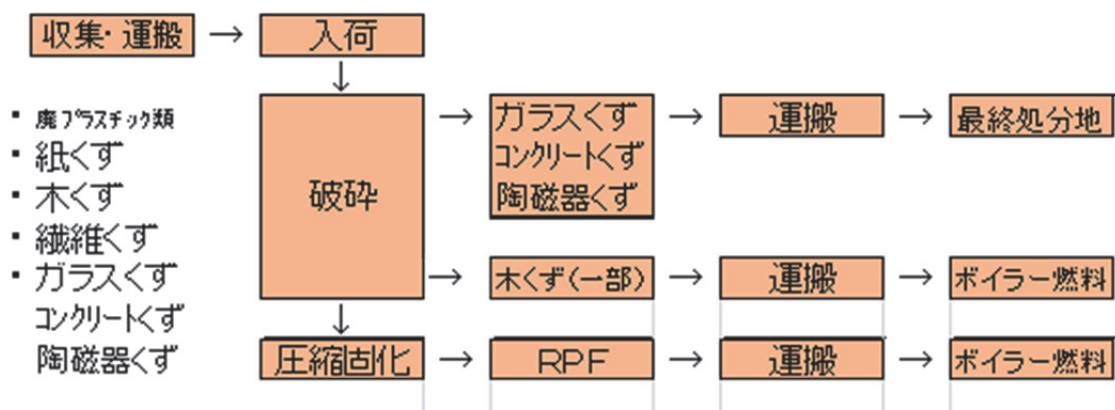
産業廃棄物の種類	主な中間処理方法	主な再資源化方法
燃え殻	焼却	—
ゴムくず	焼却	—
金属くず	破砕	製鋼原料化
汚泥	焼却	—
廃油	焼却	—
廃酸	焼却	—
廃アルカリ	焼却	—
動植物性残さ	焼却	—
動物系固形不要物	焼却	—
感染性産業廃棄物	焼却	—
廃プラスチック類	破砕、圧縮固化	固形燃料化 (RPF)
紙くず	破砕、圧縮固化	固形燃料化 (RPF)
木くず	破砕、圧縮固化	固形燃料化 (RPF)
繊維くず	破砕、圧縮固化	固形燃料化 (RPF)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕	—

5. 事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図

【焼却場】

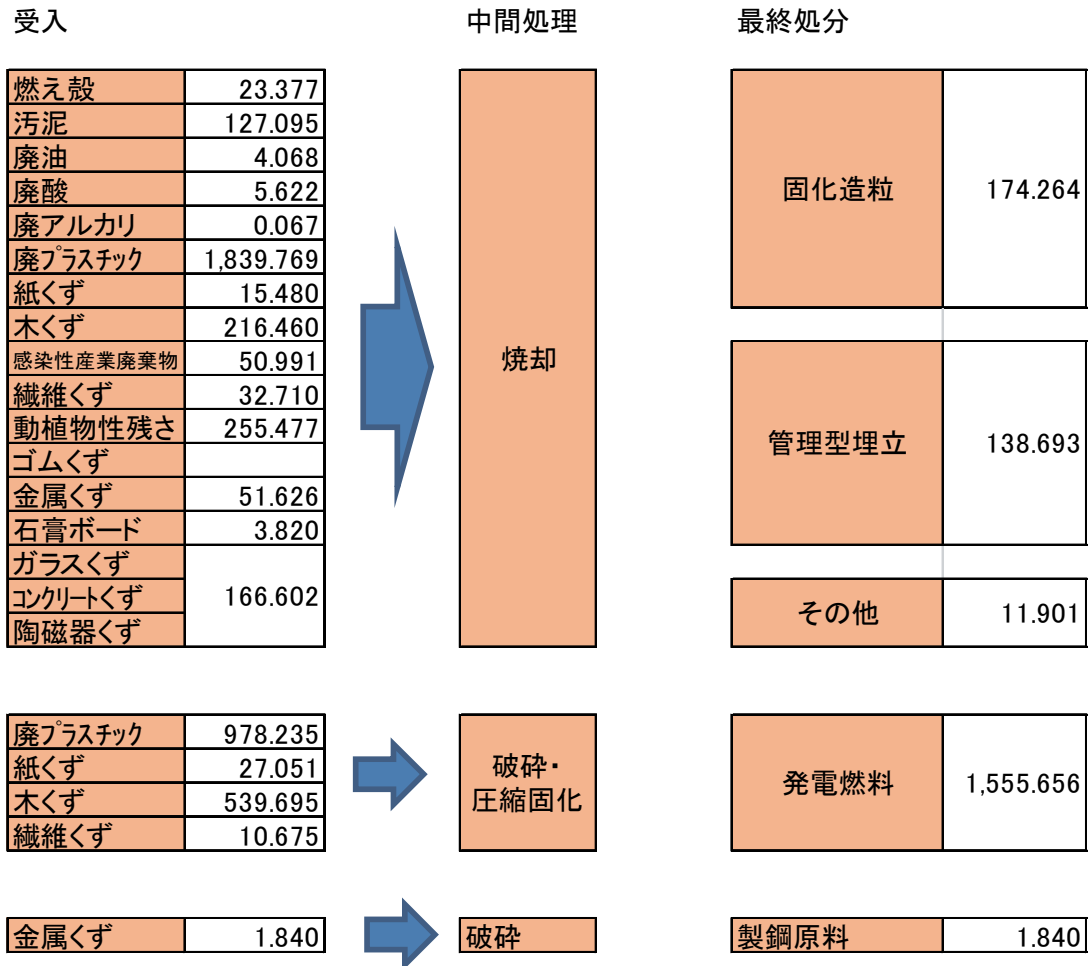


【リサイクルセンター】



6. 産業廃棄物の一連の処理の行程（平成27年4月～平成28年3月）

（単位：t）



7. 産業廃棄物の受入量、運搬量、処分量

(1) 産業廃棄物処分業 平成25年度～平成27年度 年度別実績

(単位:t)		平成25年度	計	平成26年度	計	平成27年度	計
燃え殻	焼却		287.800		31.314		23.377
汚泥	焼却		172.666		178.223		127.095
廃油	焼却		117.915		135.682		4.068
廃酸	焼却		0.100		3.253		5.622
廃アルカリ	焼却		0.892		0.760		0.067
廃プラスチック	焼却	1,381.354	2,666.981	1,466.176	2,658.238	1,839.769	2,818.004
	破碎・圧縮固化	1,285.627		1,192.062		978.235	
紙くず	焼却	0.880	11.390	123.560	138.068	15.480	42.531
	破碎・圧縮固化	10.510		14.508		27.051	
木くず	焼却	42.310	464.381	70.055	614.155	216.460	756.155
	破碎	422.071		544.100		539.695	
繊維くず	焼却	32.318	48.946	31.133	42.880	32.710	43.385
	破碎・圧縮固化	16.628		11.747		10.675	
動植物性残さ	焼却		302.194		173.909		255.477
ゴムくず	焼却						
金属くず	焼却	48.964	51.784	86.150	87.580	51.626	53.466
	破碎	2.820		1.430		1.840	
石膏ボード	焼却		1.100		2.200		3.820
ガラスくず	焼却	109.537	111.483	222.318	222.318	166.602	166.602
陶磁器くず	焼却						
コンクリートくず	破碎	1.946					
感染性産業廃棄物	焼却		48.147		51.712		50.991
計			4,285.779		4,340.292		4,350.660

(2) 産業廃棄物処分業 月別処分実績

①平成26年度

		単位:t									
月	項目	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	計
	廃プラスチック	83.432	109.737	109.087	106.717	88.915	110.559	75.864	109.137	136.193	929.641
	木くず	3.950	2.230	1.600	9.880	3.200	2.830	7.130	3.780	10.655	45.255
	紙くず	0.000	42.340	7.700	24.000	6.000	6.000	0.800	6.380	0.070	93.290
	繊維くず	1.700	5.030	1.250	1.370	3.450	2.261	0.205	3.600	2.970	21.836
	ガラス陶磁器くず	40.212	10.487	14.672	6.101	13.457	31.390	9.215	16.050	7.064	148.648
	金属くず	1.710	7.626	0.796	5.265	3.218	3.156	15.652	16.468	8.028	61.919
	医療系	14.887	16.756	15.407	13.730	13.474	14.141	15.950	14.064	13.848	132.257
	感染性	3.961	3.758	3.999	3.990	4.004	4.370	3.986	3.861	4.454	36.383
	動植物性残さ	10.595	8.110	9.453	18.950	22.155	14.975	11.070	4.860	13.700	113.868
	廃油	9.080	5.939	9.010	9.430	5.086	11.720	6.920	10.150	13.115	80.450
	廃酸	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.290	0.750	0.175	0.103	1.318
	廃アルカリ	0.000	0.000	0.060	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.710	0.770
	汚泥	44.600	8.276	1.065	5.805	16.925	1.940	21.373	7.408	13.900	121.292
	燃え殻	2.940	9.500	4.900	0.950	0.030	0.000	10.054	3.010	0.330	31.714
	石膏ボード	0.000	0.350	0.150	0.070	0.130	0.810	0.000	0.560	0.000	2.070
	計	217.067	230.139	179.149	206.258	180.044	204.442	178.969	199.503	225.140	1,820.711
合計		1,820.711									

②平成27年度

単位:t

月 項目	1月分	2月分	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	計
廃プラスチック	82.285	124.973	118.593	165.728	118.313	112.115	130.261	137.444	184.597	219.230	128.639	138.170	1,660.348
木くず	6.010	13.380	8.320	6.500	7.220	195.740	11.140	31.900	24.120	25.600	21.327	20.520	371.777
紙くず	7.200	2.500	6.830	5.880	3.650	4.890	0.430	0.000	1.570	2.010	0.880	0.170	36.010
繊維くず	1.810	5.610	1.020	0.570	4.380	5.570	1.070	0.950	1.170	6.420	1.160	1.510	31.240
ガラス陶磁器くず	15.031	15.507	36.934	9.486	11.358	18.243	43.519	6.258	8.329	19.448	16.602	15.616	216.331
金属くず	11.555	3.394	4.545	1.154	8.215	3.397	8.762	7.477	1.412	10.235	2.452	5.816	68.414
医療系	15.718	13.610	15.456	13.826	13.438	15.905	22.067	13.381	13.047	13.369	13.505	14.580	177.902
感染性	4.996	4.173	4.257	4.183	3.895	4.340	4.188	4.523	4.127	4.725	4.428	4.253	52.088
動植物性残さ	17.131	11.595	23.245	12.300	32.150	12.110	12.680	11.685	16.610	20.834	17.115	28.605	216.060
廃油	5.625	9.775	19.155	13.075	3.150	17.650	26.270	0.545	11.300	6.670	13.280	22.260	148.755
廃酸	0.685	0.329	0.300	8.230	3.755	0.285	0.350	0.345	0.260	1.075	0.330	0.385	16.329
廃アルカリ	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.019	0.000	0.000	0.008	0.000	0.027
汚泥	6.430	23.246	24.700	11.830	12.251	12.135	11.797	22.475	9.530	2.205	18.654	10.645	165.898
燃え殻	0.450	0.000	1.670	8.600	1.500	6.630	0.000	0.136	0.150	0.000	0.500	1.010	20.646
石膏ボード	0.000	0.000	0.030	0.140	1.130	0.000	0.300	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.600
計	174.926	228.092	265.055	261.502	224.405	409.010	272.834	237.138	276.222	331.821	238.880	263.540	3,183.425
合計	3,183.425												

8. 産業廃棄物処理施設の維持管理状況

(1) 冷却施設、排ガス処理設備に堆積したばいじんを除去した日

年	ばいじんを除去した日
平成25年	1 / 3 (木)、5 / 6 (月)、8 / 13 (火)
平成26年	1 / 4 (土)、5 / 6 (日)、8 / 13 (水)
平成27年	1 / 3 (土)、5 / 6 (水)、8 / 15 (土)

(2) 改質ガス中の硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素及び硫化水素並びにダイオキシン類の濃度の測定記録

【平成25年度】

測定媒体	排ガス 採取日	結果が得られた日	ダイオキシン類濃度		
			実測濃度	濃度	毒性等量
排ガス	H25.10.4	H25.10.24	7.0 ng/m ³	5.2 ng/m ³	0.077 Ng-TEQ/m ³
燃え殻	H25.10.5	H25.10.24	99 ng/g-dry	—	1.2 ng-TEQ/g-dry
ばいじん	H25.10.5	H25.10.24	130 ng/g-dry	—	1.8 ng-TEQ/g-dry

【平成 26 年度】

測定媒体	排ガス 採取日	結果が得 られた日	ダイオキシン類濃度		
			実測濃度	濃度	毒性等量
排ガス	H26.10.17	H26.11.11	7.9 ng/m ³	6.2 ng/m ³	0.89 Ng-TEQ/m ³
燃え殻	H26.10.18	H26.11.11	5.0 ng/g-dry	—	0.077 ng-TEQ/g-dry
ばいじん	H26.10.18	H26.11.11	30 ng/g-dry	—	0.50 ng-TEQ/g-dry

【平成 27 年度】

採取 位置	排ガス 採取日	結果が 得られた日	測定結果				
			ダイオキシン類 Ng-TEQ/m ³	硫黄酸化物 N m ³ /h	ばいじん g/N m ³	塩化水素 mg/ N m ³	窒素酸化物 ppm
焼却炉煙突測定口	5 月 22 日	5 月 28 日	—	2.1	0.0015 未満	5.9	170
	10 月 16 日	11 月 12 日	2.0	1.9	0.0015 未満	9.4	220

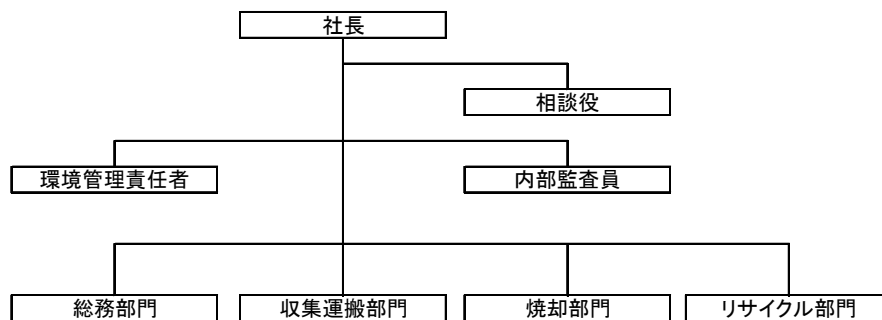
9. 処理料金の提示方法

(1) 収集運搬料金については、産業廃棄物の種類、量、運搬距離等によって計算します。

(2) 処分料金については、産業廃棄物の種類、量、処理方法等によって計算します。

ご相談により個別にお見積り致します。TEL 0823-87-0538

10. 業務を所掌する組織・人員配置



11. 事業場の公開の有無・公開頻度

弊社施設は、事前にご連絡を頂いた場合に限り、見学を受け付けます。

Ⅱ 環境活動報告

1. 環境目標・実績

温室効果ガス等の削減

項 目 \ 年 度		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度		平成 28年度
		(実績)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
二酸化炭素 排出量	総量 (t-CO ₂)	4,368	4,324	4,302	5,518	5,463
	総処分量 当たり(t-co ₂ /t)	1.02	1.00	0.99	1.27	1.26

【取り組み内容】

当社では、焼却処理に起因して排出される温室効果ガスの削減を図るため、受け入れた廃棄物を可能な限りリサイクルしています。

また、廃棄物の収集運搬業務をはじめ車両を用いた業務が多くエネルギーの消費により温室効果ガスの主な発生源となっているため、エコドライブによる車両燃費の向上に取り組んでいます。各ドライバーは、「環境管理手順書」に基づきエコドライブを励行するとともに、車両の燃費悪化に影響を与える項目を日常点検しています。

2. 環境活動計画の取組結果

(1) 車両燃費 (k m/L)

	町内収集	中距離	長距離
平成 23 年度	5.4	4.4	4.2
平成 24 年度	4.2	4.4	4.0
平成 25 年度	4.8	4.4	4.0
平成 26 年度	5.6	4.6	4.0
平成 27 年度	5.3	4.5	4.2

(2) 社員教育

環境マネジメントシステム年間計画に基づき、産業廃棄物の適正処理、温室効果ガス発生の抑制等についての教育を行っています。

H27.3.10 環境関連法規制等（順守義務）の概要

H27.4.8 平成 27 年度環境目的・目標及び実施計画について

(温室効果ガス発生の抑制に関する目標を含む)

H27.8.26 エコドライブ研修

H27.10.20 環境負荷低減につながる車両点検のポイント

(3) 緊急事態への準備・対応

環境マネジメントシステム年間計画に基づき、緊急事態を特定し、対応訓練を行っています。

H27.11.20 自衛消防訓練（初期消火、通報訓練、避難訓練）

(4) 地域貢献活動

地域の美化に協力し、日常的に自主的な清掃活動を行っています。

3. 第三者認証

当社は、平成年に ISO14001：2004 を取得し毎年の維持・更新審査を経て認証を継続しております。（別紙資料⑦ ISO14001：2004 認証登録証明書 参照。）

4. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間において、法違反及び訴訟等の発生はございません。